

宮城県高齢者人口調査の結果について

1 調査の目的

この調査は、県における高齢者人口の動向、在宅のひとり暮らし高齢者数を毎年把握し、各種施策の推進をはじめ、県及び市町村が策定している「高齢者福祉計画」の基礎数値として活用するため、実施しているものである。

2 調査の主体 宮城県

3 調査の方法 県が各市町村に調査を依頼し、住民基本台帳を基に各市町村で調査した数値を集計。

4 調査時点 平成25年3月31日現在

5 調査結果の概要

(1) 高齢者人口

① 県の高齢者人口（65歳以上人口）……………表1

高齢者人口は537,634人となっており、総人口の増加率が0.1%であるのに対し、高齢者人口の伸び率は3.8%増加となっている。

② 県の高齢化率（総人口に占める高齢者人口の割合）……………表2

高齢化率は23.3%で前年と比較して0.8ポイント上昇している。

③ 広域圏別高齢化率の状況……………表3

高齢化率が一番高いのは栗原圏（32.7%）で、次いで気仙沼・本吉圏（31.6%）、登米圏（28.3%）、仙南圏（27.5%）、石巻圏（27.2%）、大崎圏（26.4%）、仙台圏（20.6%）となっている。

④ 市町村別高齢化率の状況……………表4・5

高齢化率が一番高い市町村は七ヶ宿町（43.2%）、次いで丸森町（34.4%）、女川町（34.3%）、山元町（32.8%）、栗原市（32.7%）の順で、8市町が30%を超えている。一方、高齢化率が一番低い市町村は、富谷町（14.9%）で、次いで利府町（16.8%）、名取市（19.5%）、多賀城市（20.1%）、仙台市（20.1%）の順となっている。また、過疎指定7市町における高齢化率は28.2%で、その他の市町村（22.0%）と比べ高くなっている。

(2) 在宅のひとり暮らし高齢者

在宅ひとり暮らし高齢者の状況……………表6

在宅ひとり暮らし高齢者数は89,281人で、65歳以上の人口に占める割合は16.6%となっている。